

とよた 市議会 だより

9月市議会定例会
秋号
平成20年10月15日

ファイルNo.
90

指定管理者制度の導入で施設のサービス向上に努めます 生涯学習センター条例の一部改正

浸水被害を予防し、安心して暮らせるまちづくりを 一級河川安永川トンネル新設工事(水源工区)

ピックアップ TOPICS トピックス



子ども茶道教室 (石野交流館)

地域の交流・学びの場をサポート 市内の各交流館では、年間を通じて独自の事業を行っています。今議会では、9つの交流館に指定管理者制度を導入するため、条例を一部改正しました。民間の力を活用することで、より魅力あふれる拠点づくりを目指します。

- 都市グローバル化研究特別委員会の調査研究活動状況 ②
- 議案説明・討論 ③
- 採決一覧 議案審議結果 ④
- 予算決算特別委員会 ⑤

- 常任委員会 付託案件・請願・陳情を審査 ⑥
- 市政について問う!
- 一般質問 23人の議員が質問 ⑧
- 情報あれこれ
委員会視察、議員研修会、交通安全啓発活動など ⑫



世界に目を向けた地球規模の視点で、都市づくりの方向性について研究しています。

昨年度、海外視察検討委員会が、14の「世界に目を向けて検討すべき豊田市の課題」を提唱しました。その課題解決を目的に、本年3月市議会定例会で、都市グローバル化研究特別委員会を設置し、活動を国内に限定せず、幅広く、多角的に先進事例を調査研究しています。

都市グローバル化研究特別委員会 調査研究活動状況

本特別委員会は「環境先進都市」という共通テーマのもと、個別の重点テーマを持った3つの小委員会が活動しています。

第1 小委員会

研究重点テーマ / 急速に進む高齢化社会、少子・人口減少社会、子どもの教育と生涯学習
【委員長】加藤 昭孝 【副委員長】内藤 貴充
【委員】高木キヨ子、岩月 幸雄、近藤 光良、神谷 和利、山野辺秋夫、鈴木 規安

国内先進地視察[6月25日~27日]		海外視察[11月10日~21日]
視 察 先	視 察 内 容	視 察 先 / 視 察 内 容 (予 定)
京 都 府	子どものための京都式少人数教育 京都モデルフォレスト運動の理念と活動	独 カールスルーエ観光局 / 都市計画と自然保護の両立 " ハイデルベルク開発清掃局 / 廃棄物の適正処理と資源化
京都府 ニューリー株式会社	ワークライフバランスの取組	" バイオマス発電プラント / 高コスト発電へのエコ的解決策 伊 モンテッソーリ幼稚園 / 子どもを生き育てる支援体制整備
奈良県 学校法人奈良学園 奈良学園 登美ヶ丘	幼稚園から高校までの 教育システム(3 4 4 4 制)	" ローマ市交通部 / 人と地球に優しい交通システム 英 コネクションズセンター / 地域と連携した青少年健全育成対策

第2 小委員会

研究重点テーマ / 多文化共生都市
【委員長】杉浦 弘高 【副委員長】湯本 芳平
【委員】外山 雅崇、光岡 保之、松井 正衛、三江 弘海、太田 博康、吉野 博子

国内先進地視察[6月25日~27日]		海外視察[10月19日~29日]
視 察 先	視 察 内 容	視 察 先 / 視 察 内 容 (予 定)
外 務 省	ブラジルにおける日本へのデカセギの状況 ブラジルの環境問題への取組	伯 国外就労者情報援護センター / 日本への「デカセギ」の状況と課題 " 教育文化連帯協会 / ブラジルへの帰国子弟の教育問題
群馬県太田市	多文化共生施策	" サトウキビ農工連合 / サトウキビ栽培とバイオエタノール生産 " バイオエタノール生産工場 / バイオエタノール生産の現状と今後
茨城県つくば ライフサポートセンター	福祉が創るつくばのエコオイル	" IBAMA / 森林破壊など、ブラジルの環境問題 " クリチバ市 / 公共交通政策、環境政策など

第3 小委員会

研究重点テーマ / 公共交通と多核ネットワーク型都市構造
【委員長】河合 芳弘 【副委員長】都築 繁雄
【委員】加茂みきお、大村 義則、佐藤 恵子、牛田 朝見、清水 郁夫、桜井 秀樹

国内先進地視察[7月30日~8月1日]		海外視察[11月11日~20日]
視 察 先	視 察 内 容	視 察 先 / 視 察 内 容 (予 定)
愛 知 県	愛知県の地球温暖化防止にかかる取組 愛・地球博から継承されている環境対策事業	加 メトロバンクーバー / 都市の成長管理 米 トライメット公社 / LRTを軸にした公共交通依存型の開発
富 山 県 富 山 市	都心と地域生活拠点を結ぶ公共交通	" ポートランド市 / CO ₂ 排出量削減施策 " サンフランシスコ交通局 / 電気バス運行と公共交通の利用促進
石 川 県 金 沢 市	CO ₂ 排出量がわかる省エネ家計簿	" サンフランシスコ市 / バイオ燃料、ソーラーパネルの活用 " NUMMI / カーブリーング(相乗り通勤)など環境への取組

視察調査研究結果については、市政への提言はもとより、市議会だよりで特集号を組むなど、今後もわかりやすい形で市民の皆さまに報告させていただきます。



生涯学習センター条例の一部改正など46議案を議決 承認、報告案件などを審議

	主な案件名	内容
条例の制定	【第101号】 豊田市教育委員会 委員定数条例	市域の拡大や市民ニーズの多様化、教育を取り巻く環境の変化などに対応するため、平成20年10月から市教育委員会の委員を1名増員し、6名に変更します。また、教育委員に保護者を含めることが法律で義務化されたため、増員枠は保護者の中から選任し、将来的には改訂版教育行政計画に掲げる6分野を各委員の担当制とすることも見込んでいます。
条例の一部改正	【第107号】 豊田生涯学習センター条例の一部を改正する条例	平成21年4月から、以下の生涯学習センター9施設に指定管理者制度を導入します。旭交流館、足助交流館、井郷交流館、石野交流館、小原交流館、上郷交流館、下山交流館、藤岡交流館、松平交流館
契約 工事請負	【第135号】 一級河川安永川トンネル 新設工事(水源工区)	浸水被害を予防し、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、一級河川「安永川」流域に267mのトンネルを新設します。契約金額は13億3,350万円、完成予定は平成22年10月です。
報告	【第7号】 平成19年度決算に係る 健全化判断比率及び 資金不足比率の報告	本年4月に「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の一部が施行されました。平成19年度の決算から、財政の健全性に関する比率を監査委員の審査に付し、その意見を付けて議会に報告し、公表することになりました。この制度は、自治体が多額の借金などで破たんすることを未然に防ぐためのもので、本市財政の健全性は「極めて高い」とする報告がありました。

討 論

発言順に記載

諸 派 大村 義 則

指定管理者制度にかかわる第108号始め11議案は、十分な検証なしに公募制を導入している。公共性の確保や雇用の継続性、使用料の値上げが危ぐされるため、反対。請願第5号は、ミニマムアクセス米の輸入停止を求めるもの。世界的な食料危機の中、日本が不要な米を輸入し続けることは道理がなく、輸入は「義務」でないことを政府が認めるべきと考え、賛成。

市民フォーラム 湯本 芳平

議案第101号は、教育界がさまざまな問題を抱える中、義務教育を所管する教育委員会の委員を増員するもの。より幅広い視野で現状をとらえ、的確な教育委員会の運営を期待し、賛成。議案第131号は、小原、下山、旭、稲武の4地域にCATV基盤を整備するための事業費を補正する予算案。中山間地域の情報格差を是正し、今後の定住施策促進にもつながると考え、賛成。

本会議最終日に各委員会審査の委員長報告を受けて、各会派等が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。

自民クラブ 河合 芳弘

議案第106号から第130号は、指定管理者制度を推進するもの。住民サービスの向上と行政コストの削減が相乗的に機能し、市民と行政、指定管理者の3者にとって有益となることを期待し、賛成。請願第5号は、工業用に使うべきミニマムアクセス米を食用として販売した事件が起きているが、これは、不祥事を起こした企業と監視体制の問題だと考え、反対。

諸 派 岡田 耕一

議案第100号について、条例はできる限りシンプルに、わかりやすくすべき。将来的には、自治体の独自性も考慮した条例改正を期待し、賛成。承認第3号の納期前納付報奨金について、多くの自治体で廃止されている中、今年度は「廃止の方向で検討している」という旨の答弁があった。制度の廃止が、今後の徴収率や事務効率の低下につながらないことを期待し、賛成。

諸 派 外山 雅崇

請願第5号について、カビや農薬に汚染された、いわゆる「汚染米」「事故米」は、80%が輸入米だった。これらの不正転用事件は、国民や市民を不安に陥れているだけでなく、各方面の業者に経営的な打撃を与えている。米の貿易・流通の無制限な規制緩和という自由化施策を転換し、ミニマムアクセス米の輸入を早急に中止させるべきであり、賛成。

公明党 小島 政直

議案第101号について、本市が推進すべき教育施策の強化を考えると、教育委員会の増員は同意できる。教育委員会の中で、より活発な議論や活動が行われると考え、賛成。議案第106号から第130号について、公募による指定管理者制度で民間経営の発想やノウハウを取り入れ、利用が増えるなどの効果があった。制度の趣旨を活かしたものと考え、賛成。



議案審議結果

議案名など一部省略して記載しています

9月市議会定例会に付された案件

議案	採決結果	会派別賛否							
		自民クラブ 30名(議長除)		市民フォーラム 10名		公明党 3名		諸派 4名	
		賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対
第100号 市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例	原案可決	29	0	10	0	3	0	4	0
101 教育委員会委員定数条例	"	29	0	10	0	3	0	4	0
102 御内製作工房施設条例	"	29	0	10	0	3	0	4	0
103 公益法人制度改革に伴う関係条例の整理に関する条例	"	29	0	10	0	3	0	4	0
104 職員退職年金条例及び消防団員等公務災害補償条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	4	0
105 地域バスの運行に関する条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	4	0
106 教職員会館条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	4	0
107 生涯学習センター条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	4	0
108 地域文化広場条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	2	2
109 文化財施設条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	4	0
110 体育施設条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	2	2
111 とよた市民活動センター条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	4	0
112 六鹿会館条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	2	2
113 市民広場条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	4	0
114 コミュニティセンター条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	2	2
115 平戸橋いこいの広場条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	2	2
116 猿投棒の手ふれあい広場条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	2	2
117 百年草条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	4	0
118 自転車等放置防止条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	2	2
119 高齢者温泉休養施設条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	2	2
120 旭高原自然活用村条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	4	0
121 農林漁家高齢者センター条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	4	0
122 トレーニングセンター条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	4	0
123 産業福祉施設どんぐりの里いなぶ条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	4	0
124 基幹集落センター条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	4	0
125 香嵐渓施設条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	4	0
126 香恋の里条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	4	0
127 下山憩の家条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	4	0
128 都市公園条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	2	2
129 都市公園使用料条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	2	2
130 有料化粧室条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	2	2
131 平成20年度一般会計補正予算	"	29	0	10	0	3	0	4	0
132 " 介護保険事業特別会計補正予算	"	29	0	10	0	3	0	4	0
133 " 水道事業会計補正予算	"	29	0	10	0	3	0	4	0
134 工事請負契約の締結(猿投コミュニティセンター改修工事)	"	29	0	10	0	3	0	4	0
135 " (一級河川安永川トンネル新設工事・水源工区)	"	29	0	10	0	3	0	4	0
136 " (こまどり公園雨水調整池建設工事)	"	29	0	10	0	3	0	4	0
137 " (稲武簡易水道統合事業[仮称]野入浄水場建築工事)	"	29	0	10	0	3	0	4	0
138 財産の取得(地域医療センター全身用エックス線CT装置)	"	29	0	10	0	3	0	4	0
139 " (小型動力ポンプ付き積載車)	"	29	0	10	0	3	0	4	0
140 " (水槽付き消防ポンプ自動車)	"	29	0	10	0	3	0	4	0
141 " (高規格救急自動車)	"	29	0	10	0	3	0	4	0
142 " (高度救命処置用資機材)	"	29	0	10	0	3	0	4	0
143 都市公園予定区域の決定(高岡公園)	"	29	0	10	0	3	0	4	0
144 市道の認定(17路線/2,963.5m)	"	29	0	10	0	3	0	4	0
145 市道の廃止(3路線/388.7m)	"	29	0	10	0	3	0	4	0
承認(第3号~第19号の決算関係分は5ページ参照)									
同意									
第5号 公平委員会委員の選任(再任:樋口 明氏)	同意	29	0	10	0	3	0	4	0
6 教育委員会委員の選任(再任:長橋 朗氏、横山真久氏、新任:小澤里美氏)	"	29	0	10	0	3	0	4	0
報告									
第6号 専決処分の報告(損害賠償額の決定10件、工事請負契約の変更4件など)									
7 平成19年度決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の報告									
請願									
第5号 ミニマムアクセス米の輸入停止を求める請願	不採択	0	29	0	10	0	3	4	0
6 燃料、肥料、飼料、農業資材等の価格高騰に対する緊急対策を求める請願	"	0	29	0	10	0	3	4	0
陳情(7ページ参照)									
議員提出意見書									
第1号 新たな過疎対策法の制定に関する意見書	原案可決	29	0	10	0	3	0	4	0
2 道路整備のための財源確保に関する意見書	"	29	0	10	0	3	0	1	3



予算決算特別委員会 決算についての質疑応答

9月11日から26日にかけて、本市の予算・決算について詳細な審査が行われました。こちらでは、その質疑応答の一部をご紹介します。

一般会計決算 まちづくり協議会補助金

質問 まちづくり活動への支援

本市のまちづくり協議会は2団体だけだが、将来的に増やしていく考えはあるのか。

答弁 まちづくり活動をこれから推進しようとしている地域はたくさんある。それらの地域に対して働きかけを行い、各地域がまちづくり協議会を立ち上げて活動したいとの要望があれば、積極的に補助金を交付していきたい。



一般会計決算 こども発達センター費

質問 のぞみ診療所の件数の伸びについて

のぞみ診療所で、小児神経科の受診人数と薬局処方件数が前年度と比べて大きく増加しているが、その理由は。

答弁 小児神経科医について、平成18年度までは嘱託職員で対応していたが、19年度から経験豊かな医師を正規採用したためである。重症心身障がいの専門医なので、従来は診療できなかった患者への対応が可能になった。薬局処方件数は、患者数の増加と、発達障がいの一つである注意欠陥多動性障がいの新薬が導入されたことによる利用増も含まれる。

一般会計決算 魅力ある学校づくり推進費

質問 チャレンジ&ドリーム事業

特色ある学校づくりは、継続して取り組むことに効果があると思うが、チャレンジ&ドリーム事業をどのように評価しているか。

答弁 当事業は、地域性や児童生徒の実態、あるいは希望を活かしながら、地域の文化や芸術に関わる活動などをサポートするものである。地域に誇れる活力のある学校となるよう、学校独自に展開できていると評価している。

一般会計決算 常備消防費

質問 消防緊急情報システム

消防緊急情報システムはどのような内容か。また、短時間に集中して出動要請があった場合、緊急指令の対応方法は。

答弁 本システムは、固定電話、携帯電話、IP電話から通報のあった場所を地図上に表示できる仕組みになっている。市内で同一時刻に類似した別の場所で発生したケースは、平成19年度で数件あった。この場合、職員が必ず発生場所や周りの状況、要救助者の詳細情報を聞き取り、同様のケースがあれば互いに確認し、同時に入った2件の要請に対して1件と誤認しないようにしている。

一般会計決算 地域情報基盤整備推進費

質問 CATV網の整備事業

山間地域情報基盤整備計画の進捗状況は。また、CATVへの加入率が低い場合はどうするのか。

答弁 基盤整備検討地区の整備状況などをまとめた計画をひまわりネットワークに提出し、同社から事業を提案してもらった。今年の8月下旬から同社による集落単位での説明会を実施している。加入率が低い場合、事業化が困難となる可能性もあるが、市としては、本事業は情報格差を是正し、安全・安心な地域づくりにつながる重要な政策だと考えるため、地域や事業者と連携し、積極的に加入促進に努めていく。

承認案件

平成19年度決算状況の審査を行いました。17件の一般・特別・企業会計決算が承認案件として提出され、審査の結果、一部案件()を除き、すべて全会一致で妥当と認められました。

第3号 平成19年度 一般会計決算

4	国民健康保険特別会計決算
5	食肉センター特別会計決算
6	都市計画事業土地区画整理特別会計決算
7	分譲住宅建設事業特別会計決算
8	公共下水道事業特別会計決算
9	卸売市場特別会計決算
10	老人保健特別会計決算
11	農業集落排水事業特別会計決算
12	水道水源保全事業特別会計決算
13	母子寡婦福祉資金貸付事業特別会計決算
14	介護保険事業特別会計決算
15	財産区特別会計決算
16	簡易水道事業特別会計決算
17	水道事業会計決算
18	豊田三好事務組合一般会計決算
19	豊田三好事務組合農業共済特別会計決算

第3号に2人、第4号に3人、第14号に3人の反対がありました。



9月10日の本会議で委員会に付託された案件の審査を、5つの常任委員会で行いました(予算関係議案を除く)。委員会の審査内容を、主な質問と答弁に要約して紹介します。開催日順に掲載しています。議案名など一部省略しています。

産業建設委員会

9月17日、付託された13議案と請願2件を審査し、議案のすべてを全会一致で承認し、請願2件は不採択としました。

【第105号】豊田市地域バスの運行に関する条例の一部を改正する条例

質問 高齢者の乗客が多いとのことだが、停留所だけではなく路線上のどこでも乗り降りできるフリー乗車は検討したか。また今回の路線変更によって、基幹バスへの乗り継ぎの利便性が向上するが、乗り継ぎ割引などの検討は行ったか。

答弁 基本的には停留所での乗り降りになるが、山間部では実際にフリーで乗り降りしている場所もある。今後も状況を見ながら検討する。乗り継ぎ割引については、現在は地域バスと基幹バスの料金体系の違いから行っていないが、今後ICカードの導入を検討する中で考えていきたい。



【第136号】工事請負契約の締結(こまどり公園雨水調整池建設工事)

質問 今回の調整池は、小学校の校庭などにある既存の雨水貯留施設と何が違うのか。

答弁

今回の調整池は周辺に降った雨のうち、矢作川に排出できない雨水を一時的に溜め、ポンプで排出する施設である。そのため既存の貯留施設に比べ、貯留容量が大きく工事費も高くなるが、浸水被害への軽減効果が期待できる。



環境福祉委員会

9月18日、付託された3議案を審査し、議案のすべてを承認しました。

【第119号】豊田市高齢者温泉休養施設条例の一部を改正する条例

質問 施設の利用料金について、市内在住の方と市外在住の方という区分を新たに追加する理由は。

答弁 この施設は、老人福祉を目的としており、安価で利用しやすい料金設定が必要と考えているが、利用者の増加に伴う維持管理費の増加等のため、収支バランスを考慮する中、市外在住の高齢者の方に、負担増をお願いするものである。



【第138号】財産の取得(豊田地域医療センター 全身用エックス線CT装置)

質問 今回のメーカー選定理由は、また、この機器のランクと導入することで何が可能になるのか。

答弁 今回のメーカーは心筋梗塞や狭心症など、心臓冠動脈検査に関して、世界的に高く評価されている。また、国内シェアが65%という高い実績と故障時も速やかに対応ができることを理由に選定した。機器については、画像撮影の速度が現在のものの16倍になり、エックス線の被爆量や検査中に息を止める時間が減少し、患者の負担軽減が図られる。また、これまで地域医療センターで検査ができず、他の医療機関にお願いしている心筋梗塞などの検査が、この機器の導入で対応可能となる。

教育次世代委員会

9月19日、付託された6議案を審査し、議案のすべてを承認し、陳情4件を報告しました。

【第101号】豊田市教育委員会委員定数条例

質問 今回の条例制定により、どのような効果を期待しているか。

答弁 委員が増加することにより、多様化した市民ニーズや幅広い地域の意見や情報を把握することが、今まで以上に可能となる。また、教育委員会での議論がより活発化し、さらなる活性化につながることを期待している。



委員会

生活社会委員会

9月22日、付託された18議案を審査し、すべて全会一致で承認しました。

【第108号】豊田地域文化広場条例の一部を改正する条例

質問 条例の中で、市長の定めによって利用料を減免できるとあるが、どのようなものが減免の対象となり、改正前と改正後では減免対象が違うのか。また、減免による指定管理者への減収補てんはどのような形で支払われるのか。

答弁 対象となるのは、公益的な活動を行う団体が利用する場合や文化・スポーツ・レクリエーション活動などを振興する団体が、児童生徒のスポーツ推進・健全育成を目的に、事業及び当該団体の連絡調整会議などを開催する場合。または、特定非営利活動法人が、参加費などを徴収しない事業や会議を開催する場合などで改正前と変わりはない。減免によって指定管理者の収入が減少した分は、市が指定管理料で補てんする。



【第134号】工事請負契約の締結（豊田市猿投コミュニティセンター改修工事）

質問 現在の状況と不具合に対して、これまでどのように対応してきたか。

答弁 館内の数箇所雨漏りがあり、雨天時には職員が定期的に巡回し、点検などを行っている。これまでは雨漏りの原因を調べながら部分的な修繕を行っていたが、今回の施設の延命化や利用者の利便性・快適性の向上を図るための全面改修にあわせ、屋上の防水処理や外壁、内装の修繕などを行う。

企画総務委員会

9月24日、付託された3議案を審査し、すべて全会一致で承認しました。

【第103号】公益法人制度改革に伴う関係条例の整理に関する条例

質問 この公益法人制度改革に伴って、本市の協会や公社への影響はあるか。

答弁 現時点では、国の公益認定の基準や手続の具体的な取り扱いについて不明な要素が多く、どの団体が公益認定を受けられるかは判断できない状況にある。今後、市としては一層の情報収集に努め、必要な支援や調整を行ってきたい。

質問 現在、本市には15の公益法人があるが、5年後に解散する可能性がある公益法人があるか。

答弁 この制度の改正が直接的な原因となって解散する法人はないと考えている。ただし、行政改革を進める上での合理化など、別の要因で統廃合する可能性はある。

意見書

【意見書 第1号】
新たな過疎対策法の制定に関する意見書

【意見書 第2号】
道路整備のための財源確保に関する意見書

上記の2つの意見書を、意見書第1号については全会一致、第2号については賛成多数で可決し、国等、関係機関へ提出しました。

請願

【請願 第5号】
ミニマムアクセス米の輸入停止を求める請願

【請願 第6号】
燃料、肥料、飼料、農業資材等の価格高騰に対する緊急対策を求める請願

上記の2つの請願を所管委員会及び本会議にて審査した結果、不採択となりました。

陳情

【陳情 第4号】
学級規模の縮小と次期定数改善計画の実施を求める陳情書

【陳情 第5号】
国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書

【陳情 第6号】
愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書

【陳情 第7号】
豊田市の私学助成の拡充を求める陳情書

上記の4つの陳情が提出され、所管の委員会へ報告されました。



9月8日から10日にかけて、23人の議員が市政の方針や考え方などについて聞く「一般質問」を行いました。その質問と答弁の一部を要約して掲載します。質問・答弁の詳細については市議会ホームページ内の録画映像か、市役所市政情報コーナー（南庁舎1階）、中央図書館、コミュニティセンター、地区交流館に配布する12月上旬発行予定の会議録をご覧ください。

梅村 憲夫

自民クラブ

豊田・岡崎地区研究開発施設の関連事業
指定管理者制度
地域自治システム
過疎対策の必要性

質問 地域会議と
分権改革への狙い

地域自治に根ざしたまちづくりを進めていくために、地域自治システムはどのようなところに狙いを定めたものか。地域や市民に対してどのように分権されていくのか。

答弁 市長

合併により本市は広大になったが、さらなる一体化、あるいは地域固有の課題へのきめ細かな対応によって持続的な発展を目指すべきだ。その方策として地域自治システムの仕組みづくりを検討している。目的は、地域会議が主体的に課題解決に向けての予算や事業を意思決定し、提案していただくこと。現在、手続きのあり方も含めて制度設計を行っているところである。

鎌田 ひとみ

公明党

高齢者支援
生活排水処理の対策

質問 下水道事業の
経営的見通し

下水道事業は独立採算を目指すべきと考えるが、少子高齢化の時代、このまま新規整備を続けた場合、将来の経営的見通しは大丈夫なのか。市の考えは、

答弁 上下水道局

第二次下水道整備計画は平成34年度に終了予定だが、同年度末の起債残高予想は未実施の場合より131億円増である。現在、改築更新にも備えた将来展望を明らかにすべく、平成23年4月からの地方公営企業法の適用を目指し準備している。財政状況や経理内容を明確にし、経費の節減を図るとともに、利用者や一般会計の負担を適正化して、中期経営計画を策定したい。

加藤 昭孝

自民クラブ

地球温暖化による影響への対応

質問 本市における
感染症への対策

気候変動の影響により、感染症の増加が危くされている。どのように対応するのか。また、豪雨による家屋の浸水被害を受けた場合、想定される健康被害と本市における対処方法は、

答弁 福祉保健部

感染症は保健所が医師の届出を受け、発生を早期に把握・解析し、県に情報提供する。感染症の種類に応じて疫学調査や防疫措置などを行うほか、流行が予想される場合は感染症情報の普及啓発を図る。浸水の影響による赤痢やコレラなどの予防には、消毒活動が有効。薬剤提供、噴霧器などの貸出、規模によっては委託業者や市による消毒を実施している。

内藤 貴充

市民フォーラム

「環境モデル都市」づくりに向けて
地区総合型スポーツクラブ

質問 トランジットモール化に
向けての社会実験

単に歩行者の安全、快適のみを追求するのではなく、人が集まる市街地活性化のためのトランジットモールの検討が必要だ。中心市街地における社会実験について、市の考えは、



答弁 都市整備部

実験場所については、豊田市駅と豊田スタジアムを結ぶスタジアムアベニューの中で、導入を検討している。交通規制

などにより一般車両の流入を抑制し、歩行者、自転車、公共交通やパーソナルモビリティなどの新たな移動システムを、既存の道路空間の中で安全、快適に共存させると同時に、オープンカフェなど民間による新たな活用策も併せて検討する。

佐藤 恵子

公明党

豊田おいでんまつりの検証と今後の取組
山間地域の情報通信基盤整備

質問 おいでんまつりの今後

おいでんまつりを今後につなげるため、市民の声を真摯に受け止めなければならないと思う。おいでんまつりはどのようなものを目指し、今後どのように進めていくのか。

答弁 産業部

参加型の楽しい地域のまつりであるマイタウンおいでんと、観客を魅了する中心街のおいでんファイナルを両立した魅力あるまつりを目指す。マイタウンおいでんの参加者、観客の増加が大きな課題だ。各マイタウン運営委員会と共働して、踊り連や地域住民が参加しやすく、地域の個性あふれる内容の充実などを図り、全市民にもマイタウンおいでんをPRしたい。

岡田 耕一

諸派

豊田市における公営墓地のあり方

質問 古瀬間墓園の
今後の整備計画

現在、古瀬間墓園を希望者全員には提供できておらず、同園を拡張すべきだ。今後の整備計画及び南部地区などへの公営墓園整備の考えは、また、市の責任による墓園整備の見解は、

答弁 建設部

今年度に墓園区域内で193区画の整備を行い、完了後には8,274区画となる。今後の計画については、来年度から既存の墓園区域と東海環状自動車道に挟まれた



質問順に掲載しています。

正式な会派名 / 自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム
公明党：公明党豊田市議団 諸派：会派所属無

一般質問

区域で拡張事業に着手し、約11ヘクタールに約2,500区画の墓園整備を行う予定だ。現段階で他地域での整備計画はなく、古瀬間墓園の充実を図ることで市民の墓地要望に応え、市の責任を果たしていく。

根本美春

諸派

放課後児童クラブの拡充を求める
原材料費の値上げと学校給食費

質問 放課後児童クラブへ正規職員の配置基準作成を求める

正規職員ならば、責任を持って長く勤めることが可能。国のガイドラインからみても指導員は、正規職員としての配置がふさわしいのでは、正規職員の配置基準を作成してはどうか。

答弁 子ども部

開設時間や業務内容などからみて、必ずしも正規職員でなくても、責任あるクラブ運営体制はできると考えている。現在、指導員の配置はクラブごとに参加児童数30人までは2人、以降、児童数15人ごとに1人の割合で行っているが、参加児童数が増加しつづける中、事業の資質向上のため、各クラブに運営をまとめる専任指導員の配置は必要と思っている。



清水元久

自民クラブ

「地域核」づくり構想の推進
新たな産業の立地誘導
若者の定住施策

質問 積極的な企業誘致活動の展開

通常の機構枠ではなく担当部署の拡充を図り、専従職員による積極的な業務展開が必要では。関係地域にも協力いただける組織体制を働きかけ、官民一体となった体制づくりをしては、

答弁

産業部

産業用地の確保に向けて、担当部署の拡充などにより、積極的な企業誘致活動を展開したい。関係地域での組織体制については、産業用地整備を進める上で地域との連携は必要だと考えている。新たな産業用地整備事業に取り組む際は、官民一体となった体制づくりを検討していく。なお、企業誘致にあたっては、東京事務所との連携も積極的に進めていく。

庄司章

市民フォーラム

住宅施策

質問 民間開発相談件数の中で実現性のあるものは

市街化調整区域での地区計画による民間開発を許容する手法は、時間を多く費やすと聞く。6月議会では相談件数が13件と聞いたが、実現性のあるものはどれだけあるか。また、中小企業による開発は可能か。

答弁

都市整備部

9月1日現在、住居系で事前相談があった21件のうち、今年度末までに都市計画の手続きに入ることが想定されるものは2、3件だ。なお、都市計画の手続きを進めるのに最短6か月、その後の開発許可手続きには2か月かかる。大規模開発は体力のある企業でなければ難しいと思われるが、1ヘクタール程度の平坦地の開発であれば、中小企業であっても十分可能と考えている。

外山雅崇

諸派

自動車関連産業の減収減益による市財政等への影響
豊田スタジアムの修繕の進捗状況等

質問 景気後退による市税や第7次総合計画への影響

トヨタ自動車の四半期連結決算及び関連企業の動向を踏まえて、来年度

の法人市民税の税収はどのくらいの減少になるか。また、第7次豊田市総合計画前期実践計画への影響は。

答弁

市民部
総合企画部

来年度の法人市民税は、今年度予算額と比較し、大幅な税収減となる可能性が高い。しかし、今後の景気の動向は不透明であり、具体的な額を現時点で予測することは困難だ。前期実践計画事業を予定どおり実施することは難しい状況だが、事業費やスケジュールの精査、事業手法の見直しを行うことで事業費の縮減などに取り組み、最大限に努力していく。

牛田朝見

自民クラブ

過疎地域における定住対策の進め方
防災行政無線の活用
市道の鋼製側溝蓋等の盗難への対応

質問 地域核周辺での宅地開発分譲

地域核を中心に基幹バスのバス停周辺、公共施設の跡地など既存のインフラが活用できる開発適地の抽出が必要では。また、宅地開発、分譲の進め方について検討スケジュールや体制は、

答弁

都市整備部

合併町村の地域核及び地域核周辺においては、必要に応じて調査したい。なお、足助地区にて来年度、老人ホームなどの跡地利用による追分住宅及び住宅用地の整備計画を策定していく。足助地区以外は目標年次を定めていないが、足助地区をモデルとして活用を検討する。検討は地域の意見を聞きながら、市役所の都市農山村交流促進チームにて行う。





質問順に掲載しています。

正式な会派名 / 自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム 公明党：公明党豊田市議団

近藤光良

自民クラブ

安心できる救急医療体制をめざして
青色パトカーの有効活用

質問 救急医療用
コールセンターの設置

救急患者が発生した場合、家庭から休日診療所の病院に電話相談すると、診察や治療に対応中の医師に電話が集中してしまう。時間外対応の救急医療用コールセンターを設置しては。

答弁 福祉保健部

救急医療用コールセンターの設置は人材確保、事業の効率性、相談先の複数化による影響など課題が多い。そのため、県が実施している「救急医療情報センター」、「小児救急電話相談事業」を充実すべきと考える。特に「小児救急電話相談」は「休日の夜間」に対応が限られているので、「平日の夜間」など相談日時の拡大や、体制の充実などを県に強く要望していきたい。

桜井秀樹

市民フォーラム

第4期豊田市介護保険事業計画

質問 地域包括支援センターの
職員配置

介護職員の病欠・退職による欠員状態での施設運営など、職員の心や身体健康面を含めて、結果的に高齢者へ影響を及ぼしてしまう。本市の認識と体制強化についての考えは。

答弁 福祉保健部

職員の病休や退職などがあった場合は、主任介護支援専門員など専門職の補充が難しいのが現状である。各地域包括支援センターを後方支援する機能の創設を検討したい。さらには、高橋、下山、旭、稲武地区に地域包括支援センターを新設し、全体を18か所として担当地区を分割し、各センターの負担軽減を行うことで体制強化を図りたい。

三江弘海

自民クラブ

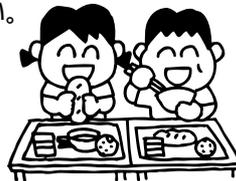
豊田市の「食と農」
消防施設の整備と消防団

質問 食農一貫政策を
実現していくために

食について、健康面は健康増進課、学校給食は教育委員会、農産物は農政課が窓口となるのだろうが、農業による食料の生産、流通、消費は一連の流れの中にあり、農業の振興と健全な食生活づくりは表裏一体だ。食の一元的な窓口の創設を提言したい。市の見解は。

答弁 産業部

第2次豊田市農業基本計画の中で「地域に根ざした食の普及」として、家庭や学校、子ども園や地域などのさまざまな分野が一体となって食育の推進を図ることにしている。現在のところ一元的な窓口の創設は考えていないが、提言を参考に研究していきたい。



杉浦昇

自民クラブ

自然環境の取組
一般廃棄物処理基本計画に関して

質問 矢並湿地の
ラムサール条約登録を

市民に自然共生社会への取組を理解し参加してもらうため、湿原の保存に関する国際条約「ラムサール条約」に矢並湿地を登録できないか。今後、登録を進めるなら、どんな方法があるか。

答弁 環境部

矢並湿地には「東海丘陵要素植物群」が生育しているので、何点かある登録基準をほぼ満たしている。国際的評価を受ける登録は、市民の大きな誇りとなる。市では保護団体を始め、市民要望の背景を受けて、登録の可能性について、候補湿地としての条件整理や詳細な自然環境調査を行っていく。

大村義則

諸派

研究開発施設用地大規模造成と
生物多様性の保全
雇用促進住宅の廃止問題

質問 不十分な環境アセスメントでの
着工は許されない

豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業について、環境アセスメントの現在の進行状況は。不十分な環境アセスメントのまま、平成22年度からの造成工事着工は許されない。着工時期も含めた計画の見直しが必要では。

答弁 総合企画部

進行状況としては、環境影響評価方法書に対する知事意見などを踏まえて、現在、環境調査を実施しているところだと聞いている。引き続き、環境影響評価手続きの適切な実施に努めていくとのことだ。今後作成する造成計画を踏まえて予測・評価を行い、平成22年度の着工に向けて、環境影響評価手続きを適切に実施していくと聞いている。

田中鋭司

自民クラブ

教育について

質問 子どものしつけと「親育て」

しつけをする親の力が乏しくなっている昨今、親の力を再生させる組織・体制づくりが必要。全市的問題として認識し、家庭教育再生機関を設けては、「親育て」の取組や見解は。

答弁 教育委員会
子ども部

おめでとう訪問など子どもが小さい時から「親育ち」支援や、家庭教育アドバイザーによる相談・講演のほか、子育てやしつけができない保護者に対してサポートチーム会議を開いている。この会議では、関係諸機関が連携をとりつつ各家庭への支援内容を検討し、関係者が直接家庭へ出向いて支援している。機関の設置については、会議の参加者と議論していきたい。



一般質問

諸 派：会派所属無

安藤 康弘 市民フォーラム

市民の「こころの健康づくり」

質問 地域医療連携による「こころの健康づくり」

うつ病の早期発見・適切な治療・再発防止には、産業医、精神科専門医、かかりつけ医など医師の連携が重要だ。地域医療連携による「こころの健康づくり」について、市の考えは、

答 弁 福祉保健部

「こころの健康づくり」の推進に地域医療連携は不可欠だ。厚生労働省は都道府県などに対して、うつ病患者を最初に診断することの多いかかりつけ医に精神疾患の診断・治療技術に関する専門研修の実施を位置づけている。本市においては、診療現場でかかりつけ医が必要に応じて精神科医と連携を図る「地域医療連携システム」の検討が必要だと考える。



山田 和之 自民クラブ

市民が利用しやすい庁舎整備
市街化調整区域における汚水処理

質問 第二次下水道整備計画の概要

公共下水道は市街化区域を最優先に整備されてきたが、生活排水の流入による河川水質の悪化を防ぐため、市街化調整区域での整備が計画された。第二次下水道整備計画の概要は、

答 弁 上下水道局

第二次下水道整備計画は、既設の下水道管路を使用し、市街化区域隣接地や人口密集度の高い市街化調整区域を整備する事業だ。事業概要は整備面積約2,000ヘクタール、整備人口は約56,000人、世帯数は約19,000世帯、事業費は約410億円である。事業年度として、平成23年度から平成34年度までを予定しているが、市街化区域との調整により一部前倒しする予定だ。

加茂 みきお 自民クラブ

(仮称)文化交流センター
歴史を次世代にどのようにつなげていくか
これからの施設づくり、拠点づくり

質問 東高跡地(挙母城址)に「(仮)豊田市ふるさと歴史館」を

来年度から財政が厳しくなる中、コスト削減は大きなテーマ。東高跡地(挙母城址)に予定されている「(仮)文化交流センター」に、「(仮)豊田市ふるさと歴史館」の施設・機能を併設すれば、美術館や市民文化会館と融合させ、駐車場や会議室などの共用によるイニシャルコスト縮減や、警備など管理部門のランニングコスト縮減が可能。文化ゾーンとしての一体的な利用ができ、入場券も美術館とセットにすれば利用者も増えると思う。東高跡地への併設を提言する。見解は、

答 弁 教育委員会

施設整備は効果的・効率的な視点を念頭に入れて考えたい。提言はひとつの参考意見としたい。

杉浦 弘高 自民クラブ

品質確保の為の豊田流入札契約制度改善
環境モデル都市に向けての庁内体制の構築

質問 新たな環境対策に対応する
新たな組織体制を

新たな環境対策への取組には、新たな組織の充実と構築が不可欠。環境部の再編についての考えは。市民の環境への取組が多く部署にまたがる中、各部署における環境対策担当の設置は、

答 弁 環境部

環境対策は多岐にわたり、専属で取り扱う課の設置や専門家の養成とともに、広い視野を持った職員の育成が重要。当面は環境部内の人員配置の変更や他部署との連携強化にて環境対策を推進したい。現在、「環境対策監」は調整監が引き継いでおり、「環境モデル都市推進担当」は23人。今後の全庁的な取組に応じ、調整監会議の機能を活発化させるなど対応したい。

神谷 和利 自民クラブ

老人クラブの活性化
原油・原材料高に伴う産業への影響と対策

質問 中小企業に対する
本市独自の上乗せ支援を

原油・原材料高の影響による中小企業対策として、国及び県の中小企業向け資金繰り対策と連動した市独自の上乗せ支援による、事実上の無利子融資を提案する。市の見解は。また、特別相談窓口の設置については、

答 弁 産業部

中小企業者の資金繰りに支援の必要があると認識しており、商工会議所・商工会からも支援強化を強く求められている。提案も含め、期間を限定した緊急経済対策をするため支援内容を検討中だ。極めて緊急性があるので、早急に検討・調整し、対応したい。商工会議所も原油・原材料高についての緊急相談窓口の開設を準備中だと聞いている。



鈴木 規安 自民クラブ

地域コミュニティの核としての学校のあり方

質問 地域交流の場としての
今後の取組

現在、市内の各地域の学校が、地域への開放に取り組んでいる。学校と地域とが一体となった活動の継続をバックアップするシステムづくりが早急に必要と考える。市の見解は、

答 弁 教育委員会

学校と地域の連携を深めていくことが大切だ。本市の小中学校には、学校アドバイザーによる助言などの体制が整っており、地域の実態、連携のあり方などの助言をいただいているケースがある。学校施設の開放には安全面の課題があると考えているので、防犯カメラの設置や門扉の整備などを進めつつ、地域から愛される学校づくりに努めていく。



議会の委員会視察

市政の課題や先進事例を調査するため、5つの常任委員会で他都市などへの行政視察を行いました。

行政視察

各委員会の市内視察は「6月定例会夏号 No.89」参照

企画総務委員会 [8/19(火)～21(木)]

- 大阪府豊中市 「エキスタとよなか」、地域情報化
- 兵庫県豊岡市 入札契約制度(CM方式)の導入
- 京都府京都市 PFI事業の実施

生活社会委員会 [7/15(火)～17(木)]

- 埼玉県さいたま市 予防保全型の下水道施設の維持管理
- 茨城県ひたちなか市 自動車安全運転センター安全運転中央研究所
- 神奈川県横浜市 水と緑の基本計画

教育次世代委員会 [8/19(火)～21(木)]

- 東京都品川区 小中一貫教育

- 東京都杉並区 地域との協働による学校づくり
 - 東京都千代田区 チャイルド・ケア・プランナー制度
 - 東京都 学校の校庭等の芝生化施策、認証保育所制度
- ### 環境福祉委員会 [7/15(火)～17(木)]

- 神奈川県鎌倉市 かまくらエコアクション21
- 千葉県柏市 柏市がん対策プロジェクト2008
- 東京都板橋区 環境学習施設「エコポリスセンター」
- 東京都千代田区 地域福祉通貨「ちよだボランティアチケット」
- 自治体総合フェア2008 自治体、企業の環境施策

産業建設委員会 [8/19(火)～21(木)]

- 東京都日野市 市民参加の公園づくり(公園探検隊の取組)
- 埼玉県川越市 町並みの保存と活用
- 埼玉県さいたま市 公共交通ネットワーク

議員としての視野を広げる 議員研修会を開催



地方議会のあり方などを解説する辻山幸宣氏

8月27日、地方自治総合研究所の主任研究員である辻山幸宣氏を講師に迎え、全議員研修会を実施しました。「市民自治と議会の役割～議会基本条例の考え方～」をテーマに、今後の市民と議会の関係などを再認識する機会となりました。

交通安全の啓発活動を実施



市役所南庁舎前の歩道で約90名が参加

秋の交通安全市民運動の一環として、9月5日の本会議終了後、市議会議員と市職員が街頭啓発活動を行いました。国道153号を通行中のドライバーや歩行者を対象に、シートベルト着用など交通安全を呼びかけました。

FMラジオ番組「市議会の扉」 今後の放送予定

毎月第4木曜日、エフエムとよた(ラジオ・ラビート)で市議会のPR番組をオンエア中です。本年5月にスタートし、10月で第6回目を迎えます。ぜひ一度、お聞きください。

- [放送チャンネル]
- ラジオ・ラビート 78.6MHz
- [2008年の放送予定]
- 10月23日(木)・11月27日(木)
- 12月25日(木)
- いずれも13:00～13:10
- [再放送]
- 放送日直後の日曜 9:50～10:00

ご意見・ご感想

「市議会だより」について、ご意見・ご感想をお寄せください。また、市議会へのご意見・ご要望もお受けしていますので、下記までお寄せください。

【宛先・問合せ】

豊田市議会事務局

〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地

TEL.0565-34-6665

FAX.0565-34-6566

Eメール gikai@city.toyota.aichi.jp

代表・一般質問の様子は、インターネット録画放映でも閲覧できます。

アクセスは検索サイトから

または <http://www.city.toyota.aichi.jp/fa00/fa01/main.htm>

< > の「議会中継 録画映像」をクリック!

議会中継は、ケーブルテレビとFMラジオで視聴できます。

	生中継・録画放送	生放送
放送チャンネル	ひまわりネットワーク 21ch(アナログ) 121ch(デジタル)	ラジオ・ラビート 78.6MHz

12月市議会定例会の予定

12月市議会定例会は
12月5日(金)開会予定です

この冊子は、折込み「9月市議会定例会 秋号」です。
このページは裏面になります。
本紙から抜き取ってご覧ください。